

カーボンリサイクル特別講座 2025年度第2回講座 ワークショップ実施概要

目的

カーボンニュートラルな炭素源を活用したバイオ生産プロセス技術は、原料として化石資源を利用しないため脱炭素・カーボンリサイクルの観点で注目されています。また、常温常圧で反応を進めるため、省エネルギーでの物質生産が可能です。一方、社会実装を進めるためには、生産の核となる微生物等の更なる機能向上やスケールアップの難しさの解消が求められます。

ここでは、微細藻類に着目し、プレゼンターより『微細藻類由来バイオマスを活用した産業利用』に関する知見を紹介いただいた後、NEDO実証研究拠点のIMAT研究施設を見学し、全体討議を通して、微細藻類由来バイオマスを活用した産業利用について理解を深めます。

成果のイメージ

微細藻類由来バイオマスを活用した産業利用分野毎の具体例、市場性（期待度）をまとめます。

カーボンリサイクル特別講座 第2回講座 ワークショップ実施概要

プレゼンテーション

一般社団法人日本微細藻類技術協会(IMAT) 事務局長 野村純平氏より、『微細藻類由来バイオマスを活用した産業利用に係る研究開発』についてプレゼン

関連研究施設見学

IMAT研究施設の見学

休憩

全体討議

微細藻類由来バイオマス産業利用に関して興味ある分野をメモパッドに書き出し、それらの事業イメージについて討議を行います。

(参考) 微細藻類の産業利用例としては下記のような分野が挙げられています。
バイオジェット燃料、食品、飼料、化粧品、色素、医薬品、バイオプラスチック、工業用油脂

(成果イメージを事務局で要約してHPに紹介する予定です)